

●国内での感染状況

増加の傾向、いまだ感染が広がっている → 医療が脆弱 → 食い止めなければ

●ラオスでのロックダウンの状況

ゲートが作られ村から出られない、厳しいもの
医療従事者はパスを持って、ここを通過する

ルアンパバーン県
ロックダウン



●院内の様子

フル装備で一日中仕事、30度を超えるなか、サウナスーツを着ているよう
スタッフにも感染者が出ている
感染したスタッフもコロナ病棟で働いている
訪問看護もフル装備



「ご支援いただいているものを返していかなければならないと頑張っています」

●昨年ご支援いただいた、 オンライン教育のための機材

ありがとうございました！
2020年 コロナ感染拡大により急遽必要となった
オンライン教育のための機材



「遠隔での教育の場を設けることができました
ありがとうございました」

●今年ご支援いただいた顕微鏡

パソコンで繋いで見られる、教育にも使われている、
確定診断のために専門家に画像を送ることができる



検査課 マネージャー
Sine さんにデモン
ストレーションをして
いただきます

検査技師
検査課マネージャー

Anousin Phonedala (Sine)

「アノシンです。皆様のご支援、感謝しています。」
スライドを作っております。これがパソコンで見られます。



白血球や赤血球、血小板など血液の成分が見られます。

- ・白血病や貧血の原因を探るのに有効
- ・詳細に調べるのに、この画像を送れる
- ・肺のうみのバクテリアの種類を見て抗生物質を決めたり、脊髄液を見て薬の種類を決めたり、尿の中の細菌を見たり、検査課の見ているものを共有できるのがとても助かる
- ・画像の一部を切り取る操作もでき、それを送ったりできる
- ・キャプチャーして送ることができる
- ・以前は顕微鏡を撮影していたりしたが、詳細がわからなかった
- ・今までできなかったことができ、診断が早く正確に
- ・教育としても画像を示し、外部の方にも知識を共有できるようになった



お礼の言葉

■会長 福田和子

ありがとうございました。支援したものが
どのように役に立っているかよくわかりました。